

## 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

キッズボンンド大福

調査期間：令和5年1月4日～令和5年1月31日      回答職員数：9名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	・指導訓練室、学習室、多目的室があり、十分な広さを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	0	・子どもの様子を見てその都度対応している。 ・適切に配置されている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	・扉等ケガをする可能性のある場所がある。見直しをしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	0	・生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっている。活動によって、カーペット、床と変えて遊ぶ。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	1	・全員が揃ったミーティングができないこともあるため、アンケート方式で意見を聞いたり業務連絡帳で伝えたりしている。 ・パート勤務の職員は関わりにくい文書での連絡は密にしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	・保護者へ評価表を配布しているほか、保護者とメールや電話、送迎時等、密に連絡を取っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	2	・ホームページに公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	2	・市の福祉課や相談支援専門員の意見を取り入れている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	・研修のスケジュールにそって行われている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0	・相談支援専門員と連絡を取り、十分な時間を費やして支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1	・キッズボンンドグループで標準テンプレートがありそれを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	・相談支援専門員と連絡を取り十分な時間を費やしてその子に合った支援計画を作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	1	・児童発達計画に沿った支援をおこなっている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1	・原案を担当者が決めて話し合いの下で決定している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1	・個々の児童にあった無理のない活動を実施している。

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	9	0	・支援計画に基づき個別支援計画と集団活動を組み合わせた支援を行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	・全員に伝わっていないと思うことがある。伝わるような工夫を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1	・全員に伝わっていないと思うことがある。伝わるような工夫を行っている。 ・毎日は時間の関係で難しいが何かあった時は必ず共有されている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	・支援記録はその日のうちに記録し、内容の共有を行うことで支援の検証・改善につなげている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1	・原則、半年に一度のモニタリングを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	2	・子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	4	・十分な利用ができていないので連携をしていきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	3	・医療ケアを必要とする児童が現在のところいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	3	・医療ケアを必要とする児童が現在のところいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	・必要に応じて情報の共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	・必要に応じて情報の共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	0	・必要に応じて行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	5	・現在のところ活動できていない今後取り組みたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	3	・現在のところ参加できていない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	8	1	・定期的に保護者との面談や日々の連絡を通じ共通理解を持っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	3	・定期的に保護者との面談や日々の連絡を通じ支援しているが十分ではない。
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	・契約時に丁寧に説明を行い、質問にも分かりやすく応じている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	0	・支援計画の支援内容の説明を行い保護者からの同意を得ている。

	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	・原則、半年に一度のモニタリングを行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	4	・会を開催するまでに至っていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	・苦情があった場合は、速やかに適切な対応を取っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	・毎月「キッズbond通信」を月初めに発行し保護者に配付し、HPにアップし活動の様子を伝えている。翌月の行事予定も「活動予定表」を配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0	・書類は鍵付書庫で厳重に保管、HP上の写真には保護者の同意を得たうえ、モザイクをかけている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	・分かりやすい伝え方(見てわかる等)の配慮をしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4	・近くの障害者施設さんの行事に参加させてもらうことはあるが、地域住民を招待することは現在できていない。今後は取り組みたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	0	・書類にして周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	・毎月火災、地震、水害の避難訓練を行っている。行事予定に組み込まれている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	0	・薬を家庭で服薬されていることは契約時、モニタリング時に確認している。予防接種を受けたときは、メールや連絡帳で伝えてもらっている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	・現在のところ食物アレルギーのある子どもがいない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	・事業所内だけでなく、グループ全体で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	・虐待を防止するための職員の研修に必ず参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	0	・身体拘束について児童、保護者とも説明をして了解を得ている。運営規定に記載している。